

# 大阪フィルハーモニー交響楽団

## 第45回岐阜定期演奏会



指揮 角田 鋼亮

ヴァイオリン 辻 彩奈

チェロ 堤 剛

管弦楽 大阪フィルハーモニー交響楽団

2022.3/19 [土] 17:30開演  
(16:30開場)

音楽評論家 奥田佳道氏によるプレトーク開催 〈17:10〜〉

サランカホール 岐阜市藪田南 5-14-53

全席指定 [S] 5,500円 [A] 4,500円

[サランカメイト: [S] 4,950円 [A] 4,050円]

※学生半額(30歳まで)。 ※未就学児の入場はご遠慮ください。  
※A席・学生券・車いす席は、サランカホールチケットセンターのみの取扱いです。

サランカメイト 2021 先行発売 12/10 [金]  
一般発売 2021 12/17 [金]  
\* 電話/インターネット 9:00〜 \* 窓口 12:00〜

### プログラム

モーツァルト: 歌劇「魔笛」K.620 序曲  
ブラームス: ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲  
イ短調 作品 102  
ベートーヴェン: 交響曲 第5番 ハ短調 作品 67「運命」  
※曲目が変更になる場合があります。

岐阜県内の小中高生を対象にリハーサルを公開いたします。  
※詳細は裏面をご覧ください。

特別協賛: 十六フィナンシャルグループ  
主催: サランカホール  
共催: (公社)大阪フィルハーモニー協会



十六フィナンシャルグループは、  
音楽などの文化・芸術活動を通じて、岐阜県の住み続けられる街づくりを応援いたします。

チケットのお求め | サランカホール チケットセンター  
058-277-1110 [9:00〜21:30]

チケットぴあ t.pia.jp 0570-02-9999 Pコード: 200-962  
イープラス eplus.jp Famiポート

チケットのネット予約は公式サイト  
「サランカ・オンラインチケット」で

サランカホール 検索

### 新型コロナウイルス感染防止に関するお願い

本公演は、国・県・業界団体のガイドラインに則って開催いたします。  
ご来場の際は、マスクの着用、手指消毒等のご協力をお願いいたします。  
詳しくはサランカホール・ホームページ、当日の館内掲示にてご確認ください。



コロナウイルス関連  
特集ホームページ



## 指揮 角田 鋼亮 TSUNODA Kosuke

東京藝術大学大学院指揮科ならびにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2008年カラヤン生誕100周年記念の第4回ドイツ全音楽大学指揮コンクール第2位入賞。これまでに、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、上海歌劇院管弦楽団、札幌交響楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー管弦楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団等と共演している。2016-2020年、大阪フィルハーモニー交響楽団指揮者。2016年、セントラル愛知交響楽団第145回定期演奏会が高く評価され「第11回名古屋ペンクラブ音楽賞」、2019年「令和元年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞」、2020年「名古屋市文化振興事業団第36回芸術創造賞」を受賞している。

現在、セントラル愛知交響楽団常任指揮者および仙台フィルハーモニー管弦楽団においても指揮者のポジションを務めている。いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として活躍の場を拡げている。

<http://kosuketsunoda.com>

## ヴァイオリン 辻 彩奈 TSUJI Ayana

1997年岐阜県生まれ。東京音楽大学卒業。2016年モントリオール国際音楽コンクール第1位。モントリオール交響楽団、スイス・ロマン管弦楽団、ベトナム国立交響楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢など多くの国内外のオーケストラと共演している。2018年「第28回出光音楽賞」を受賞。これまでに小林健次、矢口十詩子、中澤きみ子、小栗まこと、原田幸一郎、レジス・パスキエの各氏に師事。2019年4月、ジョナサン・ノット指揮／スイス・ロマン管弦楽団とジュネーヴおよび日本にてツアーを実施し、その艶やかな音色と表現によって各方面から高い評価を得た。現在、フランスと日本を拠点に活動の幅を拡げており、東京音楽大学アーティストディプロマに特別特待奨学生として在籍中。使用楽器は、NPO法人イエローエンジェルより貸与のJoannes Baptista Guadagnini 1748である。



## チェロ 堤 剛 TSUTSUMI Tsuyoshi

桐朋学園子供のための音楽教室、桐朋学園高校音楽科を通じ齋藤秀雄に師事。1961年インディアナ大学に留学し、ヤーン・シュ・シュタルケルに師事。同年ミュンヘン国際コンクールで第2位、ブダペストでのカザルス国際コンクールで第1位入賞。これまでに鳥井音楽賞（現サントリー音楽賞）、ウジェーヌ・イザイ・メダル（ベルギー）、芸術祭放送大賞、芸術祭優秀賞、レコードアカデミー賞、モビル音楽賞、N響有馬賞、日本芸術院賞、中島健蔵音楽賞、ウィーン市功労名誉金章、毎日芸術賞（音楽部門）、文化庁創立五十周年記念表彰など多数受賞、表彰されている。

2009年秋の紫綬褒章を受章。また同年、天皇陛下御在位二十年記念式典にて御前演奏を行った。2013年、文化功労者に選出。カナダ・西オンタリオ大学准教授、アメリカ・イリノイ大学教授、インディアナ大学教授を経て、現在桐朋学園大学特命教授（前学長2004-2013年）、韓国国立芸術大学客員教授。公益財団法人サントリー芸術財団代表理事、サントリーホール館長。日本芸術院会員。

## 大阪フィルハーモニー交響楽団 OSAKA PHILHARMONIC ORCHESTRA

1947年朝比奈隆を中心に「関西交響楽団」という名称で創立、1960年改称。創立から2001年までの55年間、朝比奈隆が音楽総監督・常任指揮者を務めた。その後、2003～2011年まで大植英次が音楽監督、2014～2016年まで井上道義が首席指揮者を務め、2018年4月、尾高忠明が音楽監督に就任。現在、フェスティバルホール（大阪・中之島）を中心に全国各地で演奏活動を展開している。2021年夏「ブクナー／交響曲第9番」のCDをリリース。

<http://www.osaka-phil.com>



## 〈プレトーク〉音楽評論家 奥田佳道 OKUDA Yoshimichi

東京生れ。ヴァイオリンを学んだ後、ドイツ文学、西洋音楽史を専攻。ウィーン大学に留学。くらしき作陽大学講師、エリザベト音楽大学講師を務めた。NHK、日本テレビ、WOWOW、クラシカ・ジャパン、MUSIC BIRDなどの音楽番組に出演。20年以上に渡ってウィーン・フィル ニューイヤーコンサート生中継の解説をFM、BS、Eテレのいずれかで行った。2019年はBS4Kザルツブルク音楽祭ウィーン・フィル生放送の解説を担当。またこれまでにNHK-FM「オペラ・ファンタスティカ」のパーソナリティをつとめた。現在日曜朝のNHKラジオ「音楽の泉」、「ラジオ深夜便＜クラシックの遺伝子＞」に出演中。著書に「これがヴァイオリンの銘器だ」（音楽之友社）ほか。

### 公開リハーサルのご案内

2022年 3月19日〔土〕  
14:00～16:00（開場15:20）

見学科  
無料

岐阜県内の青少年を対象に本公演のリハーサルを公開いたします。見学を希望される方は「公開リハーサルのご案内」チラシまたはサラムンカホールのホームページをご覧ください。

●対象：岐阜県内の小中高校に在学中の児童生徒とその保護者。

後援：岐阜県教育委員会 申込期限：2022年2月16日（水）必着

### 子どもアート体験募集のご案内

2022年 3月19日〔土〕  
10:30（集合）～12:00（終了予定）

参加費  
無料

オーケストラ公演  
ができるまで

何も無い舞台が、いつの間にかオーケストラのステージに!? 普段は見ることのできない準備の様子を特別にご覧いただきます。申し込み方法については「子どもアート体験募集」チラシまたはサラムンカホールのホームページをご覧ください。  
※参加本人と同伴者1名分の公開リハーサルのお席をご用意いたします。

※定員になり次第締切

申込期限：2022年2月28日（月）必着

▲公開リハーサル/子どもアート体験のお問合せ先／サラムンカホール事務局 TEL.058-277-1113



人と、地域と、未来をむすぶ



十六フィナンシャルグループ